



Lions Club332-E 地区機関誌

LIONS CLUB 2016-2017 No.2

最上川



角田ガバナー公式訪問

〈ガバナーテーマ〉

ノーマライゼーション

〈アクティビティ・スローガン〉

利他の心でウィサーブ

CONTENTS

ガバナー公式訪問	P2
カンボジアの学校建設	P4
山形県アイバンク	P6
アラートのアクティビティ	P8
ノーマライゼーションの活動	P10



角田ガバナー公式訪問



ガバナーテーマ

「ノーマライゼーション」

アクティビティ・スローガン

「利他の心でウィサーブ」



角田ガバナー公式訪問報告

キャビネット幹事 L. 高 橋 勉

8月26日の2 R 米沢合同公式訪問に始まり、9月16日の5 R 1 Zの酒田公式訪問に至るまで、途中台風10号の到来や国際会長公式訪問（東京）などありましたが、皆様の協力で無事7回終了することができました。担当のゾーンチェアパーソンやホストクラブの皆様をはじめメンバー各位に感謝申し上げます。

今年度の三役協議会は、各クラブとも真摯に回答を寄せられた「ガバナー諮問書」をもとに、クラブの『会長テーマ』について、熱い思いを10分間発表いただき、クラブの方針、運営、課題などを説明いただい

た、大変有意義な時間でした。

公式訪問合同例会では、各リジョンとも工夫を凝らしながら、新入会員入会式を行い、新入会員はガバナーより一人一人ピンを襟元につけていただき、歓迎と祝福を受けました。

各リジョンで特色ある懇親会を設営いただき、ガバナーやキャビネット役員と親しく交流し、親睦を深めることができました。各クラブの今後の活躍をご期待申し上げます。

2016-2017 年度 ガバナー公式訪問日程

日程	リジョン	会 場	Z C	ホストクラブ
8月26日(金)	2 R 合同	米 沢 市 グランドホクヨウ	L. 遠藤 史郎 L. 米野 斉巳	米沢松川 L C
8月30日(火)	1 R 合同	山 形 市 メトロポリタン山形	L. 中川 和夫 L. 佐藤 正悦	山形紅花 L C
9月 5日(月)	4 R 2 Z	新 庄 市 ザ・リヴィントン	L. 斉藤 昭弥	新庄もがみ L C
9月 6日(火)	4 R 1 Z	大石田町 大石田営農センター	L. 吾妻 正章	大 石 田 L C
9月 8日(木)	5 R 2 Z	鶴 岡 市 グランドエル・サン	L. 加藤 省二	羽 黒 L C
9月13日(火)	3 R 合同	中 山 町 中 央 公 民 館	L. 大津 慶友 L. 武田 幸三	中 山 L C
9月16日(金)	5 R 1 Z	酒 田 市 ル・ポットフー	L. 山口 龍二	酒 田 L C



332 複合地区合同 100 周年レガシープロジェクト

「カンボジアに学校を建てよう」



～ 2017 年 4 月 2 日 (日) 開校式～

次世代リーダーシップ研究会委員長 L. 市 村 一 敏

30年前の1986年、日本の一人当たりの名目GDPは280万円です。1996年は約400万円ですから、この間の経済発展はめまぐるしいものがありました。2016年、一人当たりの名目GDPも400万円で、世界26位です。残念なことに、1996年から20年間進歩がありません。

現在のカンボジアの一人当たりの名目GDPは約13万円で、日本の50年前と同じような経済規模であり、東京オリンピックが開かれた頃と一緒です。この頃は山形県内にも既に沢山の学校があり、教育を受けた学生は集団列車に乗って大都市を目指しました。



学校建設の現場。基礎工事が始まっていた。

日本と違うところ

日本では戦前より学校教育が盛んに行われ、国全体で、誰もが学ぶ機会を与えられました。カンボジアでは、首都プノンペン、第二の都市シェムリアップではめまぐるしい経済発展を遂げておりますが、一步郊外に出てしまえば全く教育機関が不足しています。日本では東京・大阪以外でも、国全体に教育機関が整備されたことと比較すると、大きな違いがあります。

Siem Reap Angkor Wat Lions Clubとの出会い

333-C地区(千葉)は、既にカンボジアに学校を建設しています。学校を建設するだけにとどまらず、2012年Siem Reap Angkor Wat Lions Clubをエクステンションし、12月チャーターナイトを開いています。Siem Reap Angkor Wat Lions Clubは2014年Siem Reap Bayon Lions Clubをエクステンションし、この度のプロジェクトはSiem Reap Bayon Lions Clubから協力をいただきながらのアクティビ

ティとなります。10月までは雨季で基礎工事がなかなか行えません。11月より本格的な工事となって、翌年4月2日（日）に開校式を行うこととなりました。またSiem Reap Angkor Wat Lions Clubは、15名の入会を希望する若者を獲得しました。332-E地区ではSiem Reap Leo Clubをエクステンションする方向で計画しております。

今回の建設地はアンコールワット遺跡のあるカンボジア第二の経済都市、シェムリアップから60キロ（車で北東に1時間半）の所です。ベンメリアと呼ばれる遺跡があり、主産業は水田での米作です。学校は整備されているものの改修費がなく、屋根には大きな穴が空いていました。日本では全く考えられない環境で子どもたちは勉強しています。Siem Reap Bayon Lions Clubの初代会長は36歳、彼は我々に訴えかけました。「カンボジアの子どもに教育を提供し、私たちの国は自立したい！」と。この言葉を聞いたとき、このレガシープロジェクトが本当に必要とされているアクティビティであることを実感し、ライオンズ冥利を感じた瞬間であることは言うまでもありません。

学校の概要

対象者：Primary School（5歳～11歳）と中学校

生徒数：約260名

校舎：9m×40m

教室数：5室

トイレ：10か所

その他：ソーラーによるシーリングファン

水道用ウォータータンク・勉強デスク

ガーデンベンチ等

開校式

2017年4月2日（日）、現地にて開校式を執り行います。ツアーの詳細が決まりましたら再度ご連絡いたしますので、皆さんで行きましょう(^_^)！

注) GDPの値はIMFによる2016年4月時点の推計を用いました。



建設現場近くのベンメリア遺跡を訪れる角田ガバナー



332-F地区L 普卓司 DG (左) が、Siem Reap Angkor Wat Lions Club に記念品を贈呈



Siem Reap Bayon Lions Club と 332 複合地区が、「建設についての合意書」を締結

美味しかったローカルビール



Phnom Penh Obaykhom Lions Club との夕食会



Siem Reap Angkor Wat Lions Club と Siem Reap Bayon Lions Club との合同夕食会

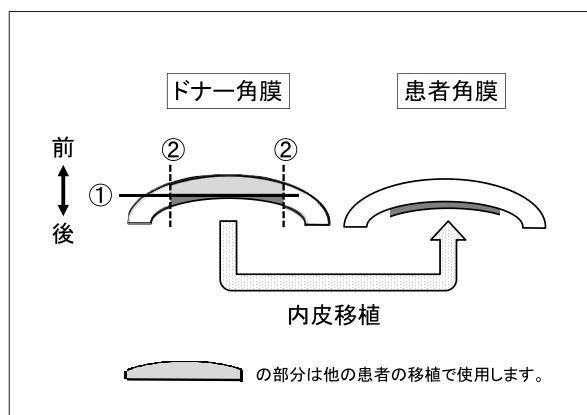


アイバンク事業



山形県アイバンクは、昭和55年4月1日に財団法人として発足いたしました。ご存知のようにアイバンクの主な活動、そして使命は、亡くなられた方から角膜を献眼いただき、角膜移植手術を必要とする患者さんへ届ける、いわばかけ橋となることです。ライオンズクラブ332-E地区、県下の眼科医のみなさまの献身的なご協力をいただき、今年で36年間、途切れることなく活動を行ってまいりました。2016年9月末現在、献眼登録者7,544名、献眼者228名、角膜移植件数420件（いずれも累計）となっております。多くの患者様の光を取り戻すお手伝いのできたことを、たいへんありがたく思っております。

角膜移植手術とは、ドナーに献眼いただいた角膜（いわゆる黒目の部分）を、角膜の濁った患者さんに移植する（とりかえる）ことで、視力の回復をはかる手術です。日本でも50年以上にわたって行われている、臓器移植のなかでもっとも長い歴史をもつ手術ですが、近年格段の進歩をしています。従来は角膜全層を入れかえなければならぬ全層移植が主流でしたが、パーツ移植（悪い部分だけ入れかえる）が可能になり（図1参照）、全国的に



（図1）

広がりを見せています。そのなかでも、山形大学医学部附属病院で先日導入された角膜内皮移植（内側の細胞だけの移植）は、従来の角膜移植に比べて術後の視機能が高く、拒絶反応などのトラブルも明らかに少ないことがわかっています。全ての患者さんにできるわけではありませんが、非常にすぐれた手術です。

しかし数年来、この手術で必要になる「マイクロケラトーム」という機械を医学部附属病院では購入できなかったため、なかなか導入できない時期がありました。そ

の機械を山形中央、霞城ライオンズクラブ様のご厚意によりライオンズクラブ国際基金に申請、ご支援いただくことで山形県アイバンクで購入することができました。医学部附属病院で活用し、平成28年3月に角膜内皮移植を開始することができました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

さて、近年、アイバンク・角膜移植を取り巻く環境は大きく変化してきています。「臓器の移植に関する法律」が改正され、また臓器提供の意志をドナーカードだけでなく運転免許証などで表示できるようになったことで、臓器移植はより身近なものになってきています。反面、角膜提供については脳死臓器移植の陰にかくれ、一般の理解を得られていない現状があります。実際にドナーカード導入以降、新規献眼登録者数は減少傾向をたどっています。このような社会情勢に対応していくため、臓器移植コーディネーターとの協力体制の構築や、他の臓器移植との差別化・啓蒙の重要性が大きくなってきています。実際に、県内の中枢病院である山形大学医学部附属病院では精力的に角膜移植医療に取り組んでおりますが、角膜提供数が十分ではないのが現状です。

このような状況下で、国内での角膜移植手術の約4割が海外のアイバンクから有償で提供される、いわゆる「輸入角膜」を使って行われています。しかし、2008年に国際移植学会でイスタンブール宣言が採択され、その中には「自国での臓器移植の推進」「移植ツーリズムの禁止」が盛り込まれています。移植ドナーの国内での自給自足を原則とするこの宣言により、海外アイバンクからの角膜提供に対する風当たりが、今後徐々に強まることが考えられます。国内ドナーからの提供を更に拡大していくことが、アイバンクとしての急務と考えます。

このため、アイバンク事業の中で、啓発活動が今後ますます重要となっていきます。山形県アイバンクでは成人式などの記念式典にてパンフレットを配布し、医療施設などに資料・ポスターを設置していただいている他、J R時刻表と10月の臓器移植月間にはラジオにて普及啓発の広報を行っております。また、これから社会に出る高校生、そのご家族に眼の健康や献眼について考えていただくため、県内の高等学校に「目の健康教室」として出張講義を開催しております（図2参照）。

山形県アイバンクも2012年4月には公益財団法人へと

移行し、新たな節目を迎えております。献眼登録者数増加への取り組みや献眼態勢の再検討、経営の問題など課題はありますが、理事会ではライオンズクラブの方々はじめ理事から活発に意見が提議され、今後を見すえた議論がなされています。急速な社会状況、医療技術の変

化に対応していくため、日本アイバンク協会、全国の各アイバンクと連携を密にしながら、山形県アイバンクも移植医療の啓発・実行にがんばってまいる所存です。今後もお指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



(図2)

前略

初めまして。私は県外に住む女性です。この度はドナー様と御家族様の温かく勇気ある決断によって角膜を提供して頂き、有難う御座居ました。ドナー様の御冥福を心からお祈り申し上げます。

おかげさまで手術も無事終り、再び光を取りもどす事ができました。自然の景色を眺め、美しい草花を見て、孫達に本を読んでやれる事がどんなにありがたい事か、光を失って初めて分かりました。本当に有難う御座居ました。

私事ではありますが数十年前、父を肺癌でなくしました。まだ癌という病名さえも聞きなれない時代、今後の医学の為、献体させてほしいとの病院側からの申し出に、父さんはいつも人様の為にと言っていたからと（献体するこ

ドナーからの サクスレター

とへの同意書に)サインして泣いた母と、献眼を決断してくださった御家族様を重ねております。

これからはいいただいた角膜を大事にして、ドナー様と御家族様の温かい思いを一人でも多くの方に話していきます。

ドナー様の御冥福と残された御家族様の健康を遠くよりお祈りしております。

かしこ

(県外病院にて角膜移植を受けられた方のご家族より)

※個人情報保護法により、原文を一部修正しております。

平成28年台風10号

被災地支援活動に際し

地区GLT副コーディネーター L.山下里美

それが予期せぬ事態になったことは皆様もご承知のとおり、気象観測をしてから初めての事態でした。プーメラン台風と言われ、南西に向った台風がUターンして北上し、東北地域では初めて太平洋側からの進路をたどった大型の台風災害となり、河川工事を請け負っていた弊社の現場も型枠や準備した資材が大水に流され、一夜にして何もない状態となりました。しかし、ニュースで各地の土砂災害が報道され、岩手県、北海道と連日テレビで目にし、「うちの現場の被害どころじゃないな」と感じました。

フェイスブックやSNSを見ると、素早く被災地支援に動き出しているライオンズクラブや個人がいて、「これは332-E地区の俺たちも支援活動さんなね!!」と思い、支援物資を運搬しようと考え、地区ガバナーの了解のもと、次世代リーダーシップ研究会メンバーに呼びかけをし、アラート委員会とも連携し、被災地に連絡をとり、9月11日（日曜日）、岩手県岩泉町役場小川支所へ向けての支援活動が始まりました。

「緊急回覧要請 岩手県岩泉町・緊急災害支援（アラート）の協力願い」と題しキャビネットより地区内各クラブに支援物資協力要請を送信しましたところ、地区内各クラブや個人及び県外の各地より多くの物資提供（水、衣類、食料、生活用品など）、そして支援金がぞくぞくと集まりました。大型トラック満載、ワゴン車満載と支援物資が積み込まれ、予想以上の物資を届けることができましたことは本当に感謝するとともに感謝いたします。

11日早朝、山形蔵王インター駐車場に角田裕一地区ガバナーや近藤勝志元地区ガバナーを始め多数のメンバーに集結していただき、出発式と道中の安全を祈願。一路、支援物資運搬と労力アクティビティ実行のために被災地へと向かいました。

運搬先の岩泉町門小学校体育館に到着すると、既に現地では待ち望んでいたかのように受け入れ態勢が整っており、お母さん達、小学生や中学生、高校生の子供たちが率先して物資荷物の運搬仕分け作業を行い、ものの10分で荷下ろしが完了しました。

途中の道路は陥没し、土砂の山が…。避難所をもう少し下ってみるとさらにすさまじい状況を目のあたりにし、

絶句するしかないような、濁流に飲み込まれた街並みが存在しておりました。ボランティア受付所が前日から開設されていたこともあり、泥出し作業場所の指示を受けながら現場作業に従事。民家の崩壊、床上浸水、住宅床下や車庫、倉庫は氾濫した土砂でいっぱい！スコップですくってもすくっても土砂はなかなか減らない、汗が吹き出る、皆んな黙々と作業を進め、夕方近く作業を終えたがまだ先が見えない土砂がある。こんな状況が何時まで続くのだろうか？私たちは帰る家があり、ゆっくり休むことができますが、被災地では落ち着いて生活することができない状況にあります。眠れない日々が続いています。少しでも早く元の平穏な地区に戻ってくれることを心から願ってやみません。

角田地区ガバナーのテーマであります『ノーマライゼーション』、アクティビティスローガンの『利他の心でウィサーブ』にあります通り、今回の自然災害で被災された地域は、まさに支えを必要としているのではないのでしょうか？

手を差し伸べてほしいと願っている人たちのために、奉仕活動を展開する重要テーマを推進し、利他の心で奉仕する事で友人知人も共感し、「ライオンズクラブって凄いいね！仲間になりたい」と思う人が現れるはずです。

ライオンズクラブのモットーであります“*We Serve*”こそ、一人では小さいことも仲間が増えれば大きなことができると考え、障害があるないに関係なく、同じ人間として困っている方には手を差しのべたいと思います。これからも私たちライオンズクラブメンバーは、仲間支援の輪を続けていけると信じております。

最後になりますが、メンバーの暖かいお心遣い本当にありがとうございました。



岩手県岩泉町

緊急災害支援（アラート）の協力への報告とお礼

会則・長期計画リサーチ・アラート委員長 L. 関 忠 則

皆さまご周知のとおり、台風10号による暴風雨の影響で8月30日夜から31日にかけて、岩手県や北海道で堤防の決壊や洪水で甚大な被害が発生しました。



9月6日に当委員会と次世代リーダーシップ研究会合同で、ライオンズクラブ会員各位に対し、332複合地区内の岩手県岩泉町への緊急災害支援（アラート）のご協力をお願いしましたところ、地区内外のライオンズクラブメンバーから大型車とワゴン車に満載になる程の多くの支援物資と支援金が届けられました。

呼びかけに賛同頂いたメンバーを含め委員会メンバーとともに、9月11日（日）午前5時に山形蔵王インターチェンジに集合、角田ガバナー・近藤名誉顧問に激励を頂き、目的地の岩手県岩泉町を目指して出発しました。

盛岡市を過ぎ、山間部を通り被災地に近づくにしたがい、道路は山から流れ出した土砂を道路脇に寄せた土砂山が連続し、また、所々で山からの大量の水の流出のために片側通行になっているところもありました。河川は、洪水によって護岸が崩れ、流木が散乱しており、多くの被災した住宅を目のあたりにしながら、目的地の岩泉役場の小川支所近くの体育館に午前10時過ぎに到着して、地元の

中学生、消防団員等のボランティアの皆さんと支援物資を無事納入しました。

その後、小川支所に設置されたボランティアセンターで登録・保険の加入手続きを済ませ、近くの一人暮らしの老人宅の片付作業の指示を受けて現場に行きましたが、洪水により道路の側溝からアスファルト舗装が15cmくらい盛り上がりしまい段差ができておりました。その上、建物周囲には流木が大量に散乱、衛生対策の石灰がまかれてあり、また、建物の中は襖戸の半分程まで浸水し、大量の泥が入り込み、凄まじい被害状況でした。

みんなで内部の汚れた衣類、家財道具、畳等を搬出し、内部の泥のかき出し、外部の泥の片付作業を行ってまいりました。現在も、被災地では、炊き出しより泥かき作業の需要が大きいそうです。

この度は、緊急な災害支援協力のお願ひではありましたが、会員の皆様からのご協力により、迅速に被災地への支援を行うことができました。

会員皆さまへのご協力に対して深甚なる感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



アクティビティ報告

「ノーマライゼーション」の実践の場です

山形千歳ライオンズクラブ幹事 L. 大 桑 昌 弘

10月8日（土）10：00から恒例のアクティビティ「第26回おひさまひろば」が開催されました。

この「おひさまひろば」は、屋外で遊ぶ機会の少ない障がいのある子供たちが、太陽の下で学生ボランティアと楽しく遊び、お互いに理解を深めることを目的としております。毎年開催されており、今年が26回目になります。

主催は「おひさまひろば実行委員会」であり、実行委員長は山形県立保健医療大学の加藤さん、そして30人ほどの学生が委員会に属し、自分たちで企画し、自分たちで実行することにより、学生自身が障がいについて正しい理解を深めることができるというものです。

山形千歳ライオンズクラブの役割は、総勢200名に美味しい芋煮を提供すること、そして学生が考えた遊びのグッズを贈呈することです。今回は「パラバルーン」でしたが、子供たちが元気一杯遊んでいる姿は微笑ましく感じられました。

以前に贈呈させていただいた「紅白大玉ころがし」もフル活用いただいております。

その他、牛乳パックで作成した「けん玉」、段ボール製の人間キャタピラーなど手作りの遊びコーナーも多数あり、それぞれのコーナーで子供たちは夢中で遊んでくれており、学生たちの創意工夫を感じることができました。

本年のテーマは「まじかるファンタジー」とのことで、例年よりも華やかで明るい感じを受けたのも良かったです。

また、保護者の方には一日控え席で休んでいただきました。実はこれも、このイベントの目的の一つだと思います。

「ノーマライゼーション」の実践には、若い人たちの優しい心が不可欠だと思います。そして、今日の体験、気持ちを未来につないでくれることを願います。

皆様、お疲れ様でした。We Serve



FWT（家族および女性チーム）

332-E地区コーディネーター L. 長瀬 洋子



L. 長瀬 洋子

ご存じと思いますが、昨年に立ち上がったばかりのFWTです。当地区に於きましてもFWT委員会ができ、様々な活動を開始しております。

今年の7月に東北のコーディネーター会議が開催されました。4つの重点施策として、会員増強はもちろん家族会員の

拡大、4人に一人は女性ガバナー、そして支部クラブの結成など、女性が飛躍するための大きすぎる目標をいただいております。

今、世界を見るとヒラリーさんや小池百合子さん、そしてイギリスの女性首相テリーザ・メイ、ドイツのメルケル首相等多くの女性たちが世界で活躍されています。

332-E地区でも、東北では初めての女性ガバナー・伴和香子氏が誕生しようとしています。これは大きな意味を持っていると考えます。「皆さん、ここ山形ですよ」と大きな声で発信をしていきましょう。地区の数多くの男性会員の理解と協力をいただき実現するものと考えます。

今、女性会員のリードで、家族会員を巻き込んでのアクティビティに力が入ってきております。このことが、県内のライオンズクラブの活力・元気のもとになるように、引き続き応援よろしくお願いします。



国際第2副会長
L. グッドラン・ビョート
イングバドター

去る、10月20日・21日に東京の衆議院憲政会館を会場に『FWT全日本女性フォーラムin東京』が開催され、伴和香子第1副会長とコーディネーター長瀬が参加してきました。100年のライオンズクラブの歴史の中で、初めて女性の会長候補、グッドラン・ビョート国際第2副会長（アイスランド出身）を

迎えての講演会に出席してきました。

講演では、会員増強はもちろんですが、女性の声・女性の役割を大切に女性リーダー育成に力を入れていきたいと話されていたことが印象的でした。また、女性の新会員獲得に関し、アドバイスとして、いつも忙しく活動して

いる女性は時間の使い方を知っているのでリーダーとしてふさわしいことなども話されました。

ライオンズの活動は、助けが必要な人に奉仕することです。女性は、自分が得意とする分野で助けが必要な人たちに奉仕をしています。大変参考になった講演会でした。



東京都知事
小池百合子氏

もう一つの目玉だった東京都知事・小池百合子さん（東京ウィルLC所属）の講演は、国際パラリンピック委員会（IPC）のフィリップ・クレーブン会長の突然の来日でビデオメッセージとなり、都知事・小池百合子さんには会うことができませんでした。人口の半

分は女性で、力を生かさないのはもったいないと。また、子育てか仕事か二者択一の国は世界にない。これからのライオンズを活性化するのは女性の手です。このような、元気の出る内容のメッセージをいただきました。生の小池都知事に会えなかったことだけが残念でした。

『FWT全日本女性フォーラムin東京』に参加できたことを生かすためにも、ここ山形の女性会員の皆様と共に自分たちのアクティビティを展開していきたいと思えます。ゾーンチェアパーソンとFWTクラブリーダーを中心に、各リジョンごとに活動計画を提出いただいていますので、来年は（仮称）『FWTフォーラムin山形』に於いて発表の運びとなるよう、第1リジョンで準備をしていきたいと考えています。

これからも、女性たちの元気とやる気に火がついて活発に活動できることが、各クラブの活性化に繋がると考えていますのでご協力とご理解をお願いしてFWTレポートといたします。ありがとうございました。



第2回国際会長グッドランさん歓迎会 東京田町「牡丹」

YCE事業

YCE委員長 L. 佐藤 和 幸

YCE事業とは、「世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい、発展させる」という目的で、青少年国際交換交流を進めようというものです。現在は、一瞬にして世界中に情報が伝わる時代となり、もはや、日本だけ、332地区だけの問題ではなくなり、若いうちからのグローバル体験がますます必要とされる時代となっています。

また、私自身も海外出張の機会がありまして強く感じたのは、近年、海外での中国人、韓国人、アジア諸国の若者達の多さであり、本当に驚いています。

ましてや、日本人若者の海外体験、海外留学が以前より少なくなってきたことを聞き、我々ライオンズクラブのYCE事業がいかに重要なことであるかを感じつつ、委員長として取り組み推進したいと思います。

毎年、各準地区のYCE委員会主催で開催されるサマーキャンプは、今年度は秋田で開催されました。その「2016年サマーキャンプ秋田」についてご報告いたし

ます。

332複合地区の来日学生5名のサマーキャンプが7月29、30、31日、秋田県内にて行われました。秋田の菅ガバナーをはじめ実行委員、キャンプ責任者の斉藤ライオンはじめ、多くの秋田ライオンズクラブメンバーによる素晴らしい準備のおかげで、3日間のサマーキャンプが無事終了しました。

市長表敬訪問、市役所新庁舎の見学、美術館めぐりを行いました。その後、秋田竿灯まつり会館、角館武家屋敷等、秋田のボランティア女子高生6人に同行してもらい、同じ年代の青少年交流も、3日間楽しく行うことができました。

夏期YCE派遣生として、山形霞城LCより會津遥乃さんがアメリカのミネソタへ、米沢松川LCより横山明里珠さんがコロラドへと派遣されました。

冬期、春期にも派遣・来日の機会がありますので、ぜひ交流を図ってほしいと思います。



アメリカ留学

ミネソタの地で

會 津 遥 乃

7月15日昼、私はアメリカ本土に初めて降り立ちました。不安と期待とでドキドキしながら到着ロビーに行くと、ホストファーザーが笑顔で出迎えてくれました。周りに日本人は見当たらず、45日間のミネソタ生活が始まるのだと実感した時でした。

ホストファミリー宅で1晩過ごした後、16か国25人の留学生と共に9日間のキャンプ生活が始まりました。そのキャンプでは盲導犬の施設やアイバンク、障がい者のスポーツ体験等ライオンズの活動を見学し、その幅の広い支援に驚かされました。また、アメリカ最大級のショッピングモールや遊園地、ミュージカルなどアク

ティブな活動も多く、楽しい日々があったという間に過ぎていきました。ホームステイでは、ライオンズ主催のトラクター祭りや昼食会など交流の場があり、日本の話をする機会もありました。

国土が広いだけでなく様々なもののスケールの大きさを実際に体験することで、行動力の大切さを学ぶことができました。また、私が最も鍛えられたと感じたのは聴く力です。日を追うごとに会話に慣れ、自分を表現できるようになりました。この留学を通して、英語力だけではなく適応能力も高められたのではないかとと思っています。素晴らしい機会をいただきありがとうございました。



アメリカ留学について

横 山 明里珠

私は、8月3日からの3週間YCE派遣生として、アメリカへ行きました。2週間New Mexico州Santa Feでホームステイ、1週間Colorado州でキャンプをしました。

私のホストファミリーは老夫婦2人でした。ホストファーザーは弁護士をされていて、ホストマザーはライオンズクラブのメンバーです。とても優しく、自分の子どものように接してくれました。最初は英語が伝わるのが大変でしたがファミリーが頑張って聞き取ってくれて、正しい英語を教えてくれました。

YCEキャンプでは、ハイキングや岩登り、オリンピック選手のトレーニング場の見学など、様々な体験をすることができました。また、パイクス・ピークというロッキーマウンテンの1つを電車で登りました。標高4301mで富士

山より高く、酸素がすごく薄いです。ちょっと歩くとすぐに疲れて呼吸が大変ですが、とてもきれいなコロラドの景色を見ることができました。

この1週間のキャンプを通して、たくさん学ぶことができました。アメリカのことだけでなく、キャンプに来ていた留学生の国を知ることができ、世界への興味が湧きました。また、将来についての考え方なども変わり、新しい自分を見つけることができました。そして今では、英語を積極的に話すようにもなりました。キャンプでは、自立力と積極性だけでなく、3週間で諦めないことと恐れないことも学びました。

これからもこの留学を通して学んだことと得られたことを忘れずに生かしていきたいです。



ライオンズクエスト委員会の活動について

ライオンズクエスト青少年指導委員会委員長 L. 後 藤 健 治

本年度は委員会メンバーが2年目を迎えます。

昨年度より数多くの会議を重ねて委員会の基盤を築き、メンバーの意識統一ができたことにより順調なスタートダッシュとなりました。

なかでも「ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラム 332-E地区 ライオンズクエストセミナー」の開催が実現できたことは、今後につながる大きな一歩だと考えております。

このセミナーを実現するにあたり、寒河江市の学校関係者にご理解をいただき、本来開催するはずだった「平成28年度 寒河江市教育研究所 全体研修会」を「ライオンズクエストセミナー」として開催することができました。

当日は多くの先生方にご参加いただき、「大変充実した内容で、未来へつながるセミナーでした」との声



大勢の参加者でした

をいただくことができました。

ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



角田ガバナーからのメッセージ

次のステップとして、冬休み等を利用した公募型のワークショップ開催を計画中です。開催決定の際には多くの方のご参加をお願いいたします。

今後も、年度当初に掲げた目標実現に向け、活動方針に沿って活動すべくメンバー一同努めていきますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また、委員会の性質上、複数年に渡っての活動が多々あることを踏まえ、学校や教育関係の行事を随時把握し、来年度に向けた計画を立てていくことでライオンズクエストプログラムの推進を図りたいと思います。



講師の先生からの解説

薬物乱用防止活動

天童ライオンズクラブ幹事 L. 須 藤 吉 重

天童ライオンズクラブ（鶴勝見会長）は、10月6日、午前6時30分より、天童市内のJR4駅（天童駅・天童南駅・高掬駅・乱川駅）に分かれ、高校生を対象に、早朝の通学・通勤の一人一人に、会員31名が天



JR 高掬駅にて

童LCオリジナルポケットティッシュを手渡し、薬物の恐ろしさを訴えた。

当クラブは世界ライオンズ奉仕デーの一環として毎年行っている。（今年で継続9年）



JR 天童駅にて

マンスリーレポートクラブ別一覧表

(2016年8月)

R	Z	クラブ名	会員移動状況						家族会員		金銭アクティビティ		労カアクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF		出席率
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数	献血者数			件数	金額	
1	Z	山形	51	51	3	0	1	50	0	0	2	128,020	0	0	0	0	0	0	0	0	84.1
		山形蔵王	30	32	2	0	0	32	0	0	2	41,500	1	1	23	19	0	0	0	0	76.5
		上山	48	49	3	0	0	49	17	17	8	139,568	4	39	48	40	0	0	0	0	93.8
		山形中央	47	47	2	0	2	45	3	3	2	71,038	1	27	0	0	0	0	0	0	74.4
		山形センチュリー	21	22	2	0	0	22	0	0	2	64,263	1	12	0	0	0	0	0	0	63.6
		上山あらざ	34	33	4	1	0	34	6	6	4	50,960	2	2	0	0	0	0	0	0	74.6
	R	小計（6クラブ）	231	234	16	1	3	232	26	26	20	495,349	9	81	71	59	0	0	0	0	
		山形霞城	147	147	2	0	0	147	48	63	5	99,385	4	12	138	122	0	0	6	630,000	75.5
		山形千歳	40	41	3	0	0	41	5	5	1	36,000	0	0	0	0	0	0	0	0	77.7
		山形紅花	29	32	11	1	0	33	0	0	2	41,078	1	7	58	40	0	0	0	0	78.7
		山形羽陽	36	37	3	0	0	37	6	6	1	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	74.1
		山形アルカディア	30	30	2	1	0	31	7	7	2	57,765	0	0	1	1	0	0	0	0	79.0
		小計（5クラブ）	282	287	21	2	0	289	66	81	11	264,228	5	19	197	163	0	0	6	630,000	
		合計（11クラブ）	513	521	37	3	3	521	92	107	31	759,577	14	100	268	222	0	0	6	630,000	
2	Z	米沢	50	50	6	0	0	50	15	29	1	21,000	5	8	89	75	0	0	0	0	68.0
		米沢中央	34	34	2	0	0	34	0	0	1	34,000	5	7	92	78	0	0	0	0	35.2
		米沢松崎	20	20	2	0	0	20	3	3	2	210,725	7	35	91	76	0	0	0	0	57.5
		米沢松川	29	33	20	0	0	33	9	18	2	512,000	6	16	89	74	0	0	0	0	84.8
		小計（4クラブ）	133	137	30	0	0	137	27	50	6	777,725	23	66	361	303	0	0	0	0	
	R	南陽	44	45	7	0	0	45	0	0	3	81,642	2	3	52	47	0	0	0	0	51.1
		川西山形	11	18	8	0	0	18	7	7	2	13,386	2	16	0	0	0	0	0	0	77.2
		高畠	59	59	2	0	0	59	10	14	2	58,500	0	0	0	0	0	0	0	0	50.8
		長井	41	43	9	0	0	43	2	2	2	49,000	2	28	0	0	0	0	0	0	67.4
		飯豊	21	22	2	0	0	22	0	0	1	22,000	1	14	0	0	0	0	0	0	63.6
		白鷹	38	38	2	0	0	38	0	0	1	38,000	0	0	0	0	0	0	0	0	73.6
		小計（6クラブ）	214	225	30	0	0	225	19	23	11	262,528	7	61	52	47	0	0	0	0	
		合計（10クラブ）	347	362	60	0	0	362	46	73	17	1,040,253	30	127	413	350	0	0	0	0	
		3	Z	河北	46	46	2	0	1	45	12	13	4	261,000	3	6	0	0	0	0	0
寒河江	46			47	3	1	0	48	16	16	1	31,000	0	0	0	0	0	0	0	0	85.4
西川	35			34	2	0	0	34	1	1	1	33,000	1	7	0	0	0	0	0	0	63.2
中山	17			17	3	0	0	17	0	0	1	17,000	0	0	0	0	0	0	0	0	82.3
寒河江臥龍	45			45	12	3	0	48	10	10	1	38,000	3	26	0	0	0	0	0	0	68.8
小計（5クラブ）	189			189	22	4	1	192	39	40	8	380,000	7	39	0	0	0	0	0	0	
R	天童		31	31	2	0	0	31	0	0	1	31,000	1	5	0	0	0	0	0	0	100.0
	天童王将		66	66	3	0	0	66	9	12	3	74,800	3	17	107	100	0	0	0	0	80.3
	天童舞鶴		48	48	3	0	0	48	7	7	1	41,000	1	3	64	62	0	0	0	0	91.6
	天童中央		52	55	3	0	0	55	4	4	2	219,358	2	47	0	0	0	0	0	0	87.2
	天童もみじ		15	16	1	0	0	16	3	3	1	13,000	1	4	0	0	0	0	0	0	100.0
	小計（5クラブ）		212	216	12	0	0	216	23	26	8	379,158	8	76	171	162	0	0	0	0	
	合計（10クラブ）		401	405	34	4	1	408	62	66	16	759,158	15	115	171	162	0	0	0	0	
	4		Z	村山	36	36	1	0	0	36	11	13	4	50,487	4	18	0	0	0	0	0
東根		27		27	2	0	0	27	4	6	1	21,000	0	0	0	0	0	0	0	0	72.2
尾花沢		40		44	10	0	0	44	10	11	2	183,000	2	80	0	0	0	0	0	0	59.0
大石田		36		36	2	0	0	36	4	4	5	300,400	1	33	0	0	0	0	0	0	93.0
東根さくらんぼ		48		48	2	0	0	48	11	11	2	87,000	1	1	0	0	0	0	0	0	77.0
小計（5クラブ）		187		191	17	0	0	191	40	45	14	641,887	8	132	0	0	0	0	0	0	
R		新庄	25	26	5	0	0	26	5	5	1	20,000	1	16	0	0	0	0	0	0	78.8
		真室川	36	36	4	0	0	36	2	2	4	74,400	2	20	0	0	0	0	0	0	69.4
		金山	19	19	4	0	0	19	4	4	3	69,300	0	0	0	0	0	0	0	0	73.3
		新庄もがみ	20	20	5	0	0	20	1	1	1	13,500	1	14	0	0	0	0	0	0	71.0
		新庄ニューセンチュリー	35	35	7	0	0	35	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.6
		新庄もみの木	27	27	2	0	1	26	0	0	2	166,000	2	21	0	0	0	0	0	0	59.2
		小計（6クラブ）	162	163	27	0	1	162	15	15	11	343,200	6	71	0	0	0	0	0	0	
		合計（11クラブ）	349	354	44	0	1	353	55	60	25	985,087	14	203	0	0	0	0	0	0	
5	Z	酒田	83	85	4	0	2	83	27	32	4	82,000	0	0	148	133	0	0	0	0	74.0
		余目	22	22	5	0	0	22	5	5	3	39,000	0	0	0	0	0	0	0	0	43.1
		酒田みなと	37	37	3	0	0	37	9	12	5	133,000	3	7	90	79	0	0	0	0	81.0
		酒田山王	6	7	3	0	0	7	0	0	3	24,000	0	0	0	0	0	0	0	0	92.8
		酒田シーサイド	26	27	3	0	0	27	0	0	1	27,000	0	0	0	0	0	0	0	0	68.5
		酒田さわやか	11	11	2	0	0	11	0	0	3	41,456	0	0	0	0	0	0	0	0	86.3
	R	小計（6クラブ）	185	189	20	0	2	187	41	49	19	346,456	3	7	238	212	0	0	0	0	
		鶴岡	35	36	3	0	0	36	6	8	1	28,000	0	0	0	0	0	0	0	0	58.3
		鶴岡朝陽	37	34	2	0	0	34	8	8	2	77,000	0	0	0	0	0	0	0	0	59.6
		三川	22	22	1	0	0	22	4	4	1	18,000	0	0	0	0	0	0	0	0	61.3
		羽黒	18	18	2	0	0	18	8	8	1	10,000	1	2	83	70	0	0	1	105,000	63.8
		鶴岡鶴陵	38	40	5	0	0	40	10	11	2	42,614	2	8	64	52	0	0	0	0	80.0
		藤島	43	43	3	0	0	43	0	0	6	81,418	1	25	0	0	0	0	2	210,000	69.7
		鶴岡中央	37	38	3	0	0	38	0	0	1	37,000	0	0	0	0	0	0	0	0	71.0
鶴岡ナイスフェロー	9	9	5	0	0	9	2	3	0	0	4	17	0	0	0	0	0	0	83.3		
小計（8クラブ）	239	240	24	0	0	240	38	42	14	294,032	8	52	147	122	0	0	3	315,000			
合計（14クラブ）	424	429	44	0	2	427	79	91	33	640,488	11	59	385	334	0	0	3	315,000			
地区合計（56クラブ）			2,034	2,071	219	7	7	2,071	334	397	122	4,184,563	84	604	1,237	1,068	0	0	9	945,000	



ライオンズクラブ国際協会332-E地区 公式ポータルサイトの活用と投稿のお願い

【原稿と写真等の投稿について】

ホームページを開設していないクラブでも開催できます。

掲載依頼書と写真・動画を投稿すればクラブ専用 HP に掲載できます。

※投稿方法は、ダウンロードした掲載依頼書と写真等を指定の大容量送信法でお願いします。

(詳細については、キャビネットにお問い合わせ下さい。)

※大容量のデータでなければ、キャビネットの E-mail 宛て又は、直接、機関誌編集局長 E-mail (下記アドレス) に添付して送信して下さい結構です。

【ポータルサイト活用の利点】

- 他のクラブの活動を閲覧でき、新たな活動の参考になる。(クラブ活性化と活動の見える化)
- 332-E地区の活動に一体感が生まれる。→ 新入会員勧誘のツールとなる。
- 地区機関誌「最上川」の誌面に載せることができない膨大な内容がアップできる。
- 動画をアップできる。説得力・リアル感・後で見ても感動できる。
- 資料をダウンロードできる。
- 会員専用サイトを使って会員だけに連絡ができる。(IDとパスワードが必要)
- 企画によっては、クラブ間交流を促進できる。
- 外部にアピールするとき、様々な活動を紹介することができる。

【閲覧方法】

『ライオンズクラブ国際協会332-E地区』のホームページ → <http://lions332-e.jp> から  をクリックすると公式ポータルサイトが開きます。

又は、公式ポータルサイトに直接アクセスすることもできます。

公式ポータルサイト → <http://www.lions332e.com/>

※ PC とスマホ両方からアクセスできます。



公式ポータルサイトのトップ画面(ここから各クラブ専用サイト／各サイトへリンク)

※公式ポータルサイトへの掲載を是非お願い致します。掲載方法は、上記公式ポータルサイトの「ダウンロード」に掲載してあります。不明の場合は、お問い合わせ下さい。

機関誌編集局長／キャビネット副幹事 片桐秀一
E-mail 332e.katagiri@suken.biz